

鐵道抵當法案特別委員會議事速記錄第二號

明治二十八年二月四日(土曜日)午後一時十九分開會

○委員長(子爵曾我祐準君) ソレデハ唯今カラ開會シマスガ、速記ヲ暫ク止メマシテ
政府委員カラ御話ガアリマス

(速記中止)

○委員長(子爵曾我祐準君) 前會ニ於テ登記ノコトニ付テ段々委員カラ質問ガアリ
マシタガ、ソレニ付テ政府委員ノ方カラ實例ヲ舉ゲテ説明ニナルサウデスカラ、左様御承
知ヲ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 登記所ニ於キマシテ實際ドレ位ノ件數ヲドレ位ノ日數デ
取扱テ居リマスルカト云フ實況ヲ一ツ御話シテ致シマシテ、サウシテ其比例デ此豫定登
記ヲ致シマスルニハドレ位ノ日數デ、例ヘバ或ル鐵道會社ノ線路地ニ付キマシテ出來
テアラウカト云フコトノ實況ヲ申上テ御參考マデニ致シマス、二十四年度ノ富山地方
裁判所管内ノ取扱件數ヲ標準ト致シマス、是ハ此年ニ於キマシテハ登記官吏ノ一人ガ
最も多ク事件ヲ取扱ヒマシタ管内デアリマスカラ、一人ノ登記官吏ガドレ位ノ數マデ取扱
フコトガ出來ルカト云フ參考ニ最モ宜カラウト思ヒマシテ之ヲ調べマシタ、同裁判所全管
内ノ二十四年度ノ取扱登記簡數、不動産ノ筆數デアリマス、ソレガ總計デ六十二萬
五千四百九十八、是デケゴザイマス、然ルニ此裁判所ノ管内ニ居リマスル登記官吏ノ
數ハ六十七人居リマス、此六十七人ニ割當アマストキハ一人一年ノ取扱筆數ト云
フモノガ九千四百八十五ト云フコトニ相成リマス、之ヲ一箇年ノ執務日數ヲ凡ソ二百
日ト見積リマスレバ一人デ一日ニ取扱ヒマスル筆數ガ凡ソ二百二十トナリマス、詰リ一人
ノ登記官吏ガ一日ニ二百二十筆ツ、登記ヲ取扱フコトニナルデアリマス、此比例デ豫定
登記ヲ致シマスルトキハ凡ソドレクラ井掛ルモノデアアラウカト云フ御參考ニ供シマスル爲ニ
假ニ北越鐵道株式會社ノ線路ヲ例ニ採リマス、是ハ別段理由ノアル譯デアリマセヌ
ガ、取調ニ最モ都合ガ宜イデアリマシテ、此線路ハ一地方裁判所管内ニ通ジテ居リマ
ス、サウシテ他ノ管内ニ互ツテ居リマセヌカラ最モ都合ガ宜イデアリマス、ソレデ此
會社ノ線路ヲ採リマシタノデアリマス、此會社ノ線路ヲ管轄シテ居リマスル登記所ノ
數ガ總計十箇所アリマス、此中テ事務ヲ執テ居リマスル登記掛ノ數ガ四十五人居リマ
ス、ソレカラ此會社ノ線路敷地ノ筆數デアリマス、是ハ土地ダケデアリマス、是ハ遞信省
ノ調査ニ依リマスルト云フト一万四千七百九十九筆トナリマス、ソレデ此筆數ヲ登記イタシ
マスニハ、一人デ一日前キニ出シマシタ比例ノ二十二ト云フ數デ割リマスト云フト、一日
デ登記ヲ致シマスニハ四百四十八、是デケノ人が要ルノデアリマス、ソコデ先キニ申シマシ
タ登記所ノ掛員ガ四十五人居リマスカラ、此四十五人デ唯今ノ筆數ヲ取扱ヒマスルト凡
ソ十日弱、即チ九日ト七七七七ト云フ日數デ豫定登記ガ完了スルコトガ出來ル、斯ウ云
フ比例ニ相成リマス、ソコデ尙御參考マデニ申上テ置キタイノハ登記所ノ登記ヲ完了
スルニ付テ多クノ日數ヲ要スルト云フ非難デゴザイマスガ、ソレハ重モ抵當權設定ノ場合、
殊ニ二百筆トカ二百筆トカ云フ多數ノ筆ヲ一緒ニ登記イタシマストキニ非難ガアリマス、是

ハ現行ノ登記法ノ規定上、誠ニ遺憾ナカラ致シ方ガ無イ次第デゴザイマシテ、茲ニ御覽
ニ供シマスガ、静岡縣ノ一例デアリマス、是ハ千七百七十二筆、斯ウ云フ筆數ノ多イモノヲ
バ一ツノ債權ノ擔保ニ致シテ其登記ヲシタ例デアリマス、ソレデ此千七百七十二筆アリマス
場合ニハ申スマデモアリマセヌガ、千七百七十二ノ登記用紙ニ各登記ヲ致スノデアリマス、
然モ其登記ハ其外ノ千七百七十一筆ノ番號カラ反別カラ悉ク書載セルト云フコトニ相成ッ
テ居ルノデゴザイマスカラシテ、不動産ヲ表示シマスルコトガ、是デケノ筆數ニ付キマシテハ
凡ソ百萬以上ノ數ニ上ボルデアリマス、左様デゴザイマスカラ一事件ノ登記ヲ致シマス
ニ付テハ不動産ノ數ヲ百萬以上モ書カケレバナラヌ、サウ云フコトニ相成リマス、斯様
ニ致シマスカラ從テ日數ガ掛ルト云フコトニ相成リマス、然ルニ是モ御覽ニ供シマスガ、
豫定登記ノ雛形ハ先ヅ斯様ニ致セバ完全ニ出來マス積リテゴザイマスガ、是ハ極メテ簡
單ニ出來マスノデ、凡ソ三行カ四行グラ井テ一筆ニ付テハ相濟ムヤウニナルノデゴザイマ
ス、左様イタシマスルト此豫定登記ヲ致シマスルニ付テハ人ヲ殖シマス、ソレカラ土地ノ合
筆ヲ致シマス、サウ云フ種々ノ便宜方法ヲ採リマシテ、サウシテ然モ此簡單形式デ致シ
マスレバ先キニ申シマシタヤウナ北越鐵道ニ付キマシテ十日弱モ掛ルト云フヤウナコトハ
アルマイ、モット是ヨリモゾット日數ガ短クテ相濟ムデアラウ、假ニ是モ申スマデモアリマセヌ
ガ、十筆ヲ合セマシテ一筆ト致シマスレバ一日デ出來ルデアリマセウ、斯ウ考ヘマスノデ、
實際ノ取扱ノ有様ト、ソレカラ豫定登記ヲ如何ヤウニ致シマスレバ結果ヲ得ラレルカト
云フコトニ付キマシテハ唯今申シタ通りデアリマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 尙續イテ申上ゲマスガ、假ニ土地ノ筆數ヲ現在ノ通り
ト致シテ、ドウ云フ風ニナルカト云フコトハ、唯今齋藤政府委員カラ委シク申シマシタ、ソ
レデ現在一ツノ事件ニ付テ百萬筆モ土地ノ記入ヲシナケレバナラヌト云フノハ、詰リ同ジ
モノヲ同ジ債權ノ抵當ニスル、多數ノ筆數ノ登記ヲスルト云フヤウナ場合ガ起ルノデアリ
マス、豫定登記ノ場合ニハサウ云フ關係ハマルデ無イノデアリマス、詰リ同ジ債權ノ爲ニ數
多ノ筆ヲ抵當ニ致シマスカラシテ、總テノ土地ニ向ッテ總テノ土地ノ登記用紙ニハ、ソレト
共ニ抵當ニナッテ居ル他ノ土地ヲ記載シナケレバナラヌト云フ其結果ト致シテ、ソナニ澤
山ノ筆數ヲ書カケレバナラヌ、サウ云フコトハ豫定登記ニ付テハ無イノデアリマスカラ、
今申シタヤウナ煩雜ナコトハ之ニ付テハゴザイマセヌ、ソレデ假ニ現在ノ筆數ノ通りト致シ
マシテモ、唯今齋藤政府委員カラ述ベマシタ如ク、其日數ノ掛リマスコトハ豫想外ニ少イ
デアラウト思ヒマセケレドモ、尙其上ニモ便利ヲ計リマスル爲ニ、土地ノ合筆ニ付キマシテ
簡便ナ方法ヲ設ケタラ宜カラウト云フ考カラ取敢テ案ヲ調ベテ見マシタ、是ハ固ヨリ確
定ナ案デアリマセヌガ、御參考ノ爲ニ一ト通り申上ゲテ置イタラ便利デアラウカ、此方
法ニ據リマシテ筆數ガ或ハ十分ノ一ニナリ、百分ノ一ニナルト云フコトデアリマスレバ、登
記ノ手數ハ御心配ニナルホド複雑ナモノデハ無カラウカト思ヒマス、其案ノ大要ノ趣旨ハ
今申上ゲマス

○政府委員(塚田達二郎君) 從來御承知ノ通り、日本ノ土地ハ筆ガ大變細カニ

分レテ居リマスカラ、土地臺帳ノ方モ筆數ガ澤山ニ分レテ居リマス、又登記所ノ登記簿ノ方モ從テ筆數ガツレニ倣テ分レテ居リマシテ、官民共ニ取扱上非常ニ不便ヲ感ジテ居ル次第アリマス、是ハ何トカ簡便ニスルト云フコトハ獨リ鐵道ニ對スル抵當權ヲ設定スル上ニ付テ便利ナルノミナラズ、他ノ耕地整理ノ場合アルトカ、又耕地整理以外ニ數筆ノ土地ヲ一人ノ私有者ガ持ッテ居リマス場合ニモ、之ヲ一筆ニ合併スルト云フコトハ、登記若クハ土地臺帳ニ登錄スルト云フコトハ大變便利アリマス、ソレデ好イ機會アリマスカラシテ、何カ別ニ法律デモ作ッテ其便利ヲ開キ、ソレカラソレヲ申請スル上ニ付テ當事者ニ澤山ノ費用ヲ負擔サセナイヤウナ方法ヲ案出シタラドウカト云フヤウナコトカラシテ、大體案ヲ仕組ンデ見テ次第デゴザイマス、ソレニハ先ツ合筆ニシマスル上ニ付テ障礙物ガアリマス、例ヘバ河川又ハ公道トカ云フ障礙物ガ挾ッテ居リマシテ、到底合筆ノ出來ヌト云フモノハ已ムヲ得マセヌケレドモ、障害物ノ無イ限リハ同一所有者ニ屬スル地面ト云フモノハ當事者ノ申請ニ依ッテ之ヲ一筆ニ合筆スル所ノ許可ヲ與ヘル、ソレデ其許可ハ土地臺帳所管廳、即チ稅務署ニ於テ許可ヲ與ヘル、稅務署ガ許可ヲ與ヘマシタナラバ、ソレヲ登記所ノ方ヘ通知シテヤリマス、登記所ハ其通知ニ基キマシテ、職權ヲ以テ登記簿ヲ直スト云フコトニシタナラバ、當事者モ一方ノ土地臺帳所管廳ニ申請シサヘスレバ、ソレデ結局登記ノ方モ直ルト云フ便宜ヲ得マスカラ、先ツサウ云フ風ニシタラ宜カラウ、ソコデ土地臺帳所管廳ノ方デ通知ヲスル、其通知ヲ受ケテ登記所ノ方ハ登記ヲシマス、登記ヲシマスル上ニ付テ合筆シテ新ニ出來タ其不動産ヲ基礎トシテ登錄稅ヲ徵收シヤウ、尙精密ニ申シマスル、今マデ百筆アツタ土地一筆ニ合併シマシタナラバ登錄稅ハ其一筆ニ付テ稅ヲ取ル、合併シテ出來上ツタ所ノ一筆ヲ基礎トシテ稅ヲ取ルト云フコトニシマシタナラバ、當事者モ費用ト手數トヲ要セズシテ簡便ニ土地ノ合筆ト云フ目的ヲ達スルコトガ出來ルデアラウト云フ所カラ二點ノ事ガ出來上リマシタナラバ大變簡便ニナラウト云フ考テ今案ヲ立テ、居ル所デゴザイマス

○委員長(子爵曾我祐準君) チョット御尋シマスガ、合筆ノコトデゴザイマスガ、私ノ承ッテ居ル所デハ唯今仰シヤツタ、一字並川ナリ道路ヲ以テ隔テラレテ居ルナラバ、ソレ限リニ一筆ニスル、其他地目ガ異ナッテ居レバ尙地目毎ニ別ニシナケレバナラヌト云フコトニ承ッテ居リマス、ノミナラズ當時鐵道會社ガ買取ツタ時ト今日トハ其周圍ノ地目ガ異動ヲ生ズルコトガ間々アルヤウデアラガ、其新名稱ニ登記ヲ一定シテ其上稅務署ノ臺帳ト同一ナモノニシテ然ル後テナケレバ現今デハ特ニ合筆ノ申請ヲシテモ許サナイ、サウ云フノガ實際ニナッテ居リマスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 現今ノ取扱ハ唯今御尋ノ通りニナッテ居ルノデゴザイマス、併シ其事ハ別ニ規則デ極ッテ居ルモノデハゴザイマセヌノデ、從來ノヤリ方ガサウナッテ居ルト云フニ過ギナイノデゴザイマス、其ヤリ方ヲ更正スル、不便ガアルナラバ更正スルト云フコトハ行政ノ方ノ訓令デ自由ニ出來ルデアラウト思フ、併シソレガ人民ノ慣習ニ反スルトカ又ハ他ニ大ナル障礙ガアレバ致シ方無イコトデアリマスガ、サウ云フ差支ナイ限リハ行政ノ訓令デ其邊ノ便法ハ付キ得ルト思ヒマス

○高木豐三君 此豫定登記ト云フノハ矢張り登記所デヤル積リデアリマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) 左様デゴザイマス

○高木豐三君 サウスト矢張り其管轄區域内ノ違フノハ皆分割シテヤルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 御問ハ一筆ノ土地ガ數箇所ニ涉ツタ場合ハ……

○高木豐三君 アレハ別ニ規定ガアリマス、普通ノ登記ト同ジヤウニスルノデアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス

○藤田四郎君 唯今曾我委員長カラ御尋ノ溝トカ云フヤウナモノニ依ッテ一々區別ヲ立テルノハ訓令デサウナッテ居ルガ、ナカク實際地目ノ變タリ字ノ變タモノヲ一緒ニスルト云フコトハ此登記役所ノ扱ヒデハ殆ド出來得ラレナイコトト思ヒマスガ、……

○政府委員(塚田達二郎君) 別ニ今御尋ノ所ハ法規トカ行政ノ訓令デ拘束スルモノハナイノデス、唯從來ノヤリ來リガサウナッテ居リマスカラ、ヤリ來リテ其鑄型ノ中ニ當嵌メテ行クト云フデアリマス

○高木豐三君 是ハ少シ能ク何モ研究セヌデ突飛ナ質問カモ知レマセヌガ、私ドモ司法省ニ居ル時分苦シクデアリマス、是ハ口デ言ヘバ出來ルト云フ御說明モアリマスガ、實際ドウモ非常ニ困難ナコトデアル、ソレデ何カ斯ウ云フ御考ガ付カヌモノデアリマセウカ、斯ウ云フ特別ノ法律ヲ出ス時デスカラ法律トカ或ル勅令ヲ以テ例ヘバ日本鐵道會社ノ敷地ハ全部若クハ一縣下ノ敷地上云フモノハ普通ノ登記法ニ依ラズシテ別ノ登記簿ニ依ッテ一筆ナラ一筆切レバ、一縣下ナラ一縣下、若クハ全鐵道ノ登記スル場所、若クハ場所ヲ變ヘラレニヤ帳簿ヲ變ヘル、サウシテ是マデノ各管轄登記所ノ登記簿ハ矢張り勅令ナリ何ナリニ依ッテ是マデ登記ニナッテ居ルモノハ一齊ニ抹消スル、斯ウ云フヤウナ簡略ナ方法ハ取レヌモノデアリマセウカ、若シソレガ現行法ノ範圍デヤラウトスルカラ手數ガ複雑ナコトニナリマスガ、特別ノ法律ヲ拵ヘテ特別ノコトヲスル時ハ何カ英斷ヲ以テ特別ニ定ムルコトハ出來マセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今御話ノ方法ハ至極簡便ハ簡便デアラウト思ヒマス、サウ云フ簡便ナ方法デ實際他ノ權利者ニ迷惑ヲ及ボスコトハ無イカト云フノデ實ハ餘ホド攻究モシテ見タノデス、ゲレドモ今御話ノ第一ニ鐵道ノ敷地ト云フモノハドレダケノモノデアアルカ、ソレハ何ニ依ッテ定ムルノデアアルカ、又法律デ定マルト云フ、チョット御考ノヤウデアリマスガ、法律デ定メルト云フノハ總テ鐵道會社ノ敷地ト云フモノハ一ツトシテ仕舞フト云フ法律デアラウト思フ、或ル特定ノ會社ヲ指シテノモノデハ無カラウ、又其法律ニ依ッテ或特定ノ會社ノ敷地ハドレダケト云フコトハ固ヨリ定マルマイト思フ、敷地ハドレダケノモノデアアルカト云フコトヲ證明スルノガ普通ノ登記簿ヨリ外ハ無イ、又現在一筆一筆ニ分レテ其筆數ガ差押ヘラレテ居ルモノモアリ、現ニ抵當ニナッテ居ルモノモアル、ソレヲ一片ノ法律ヲ出シテ其區域モ何處ニアルカ分ラヌト云フモノヲ定メルコトハムツカシカラウ、縱シ法律ヲ出シタ所ガ、法律ニ言フ所ノ鐵道ノ敷地トナルモノハ、ドレダケカト云フコトハムツカシイ、ソレ等ノ細密ナ點ニ付テ尙御考ガゴザイマセバ伺ツタ上デモウ一應……

○高木豐三君 是ハ能ク調ベタコトモアリマセヌデ、實際ムツカシイモノデアラウト考ヘマスガ、今申サウナ法律ヲ定メテ出スト云フコトニナレバ、敷地上云フモノハ法律上定マラヌト云フナラバ現ニ鐵道會社ノ線路ト云フモノハ此鐵道會社ガ買ッテ收用シテ居ル、今御話ノ抵當ニナッテ居ルモノモアリ、差押ニナッテ居ルモノモアルト云フ、是ハ何レ財産

○高木豐三君 是ハ能ク調ベタコトモアリマセヌデ、實際ムツカシイモノデアラウト考ヘマスガ、今申サウナ法律ヲ定メテ出スト云フコトニナレバ、敷地上云フモノハ法律上定マラヌト云フナラバ現ニ鐵道會社ノ線路ト云フモノハ此鐵道會社ガ買ッテ收用シテ居ル、今御話ノ抵當ニナッテ居ルモノモアリ、差押ニナッテ居ルモノモアルト云フ、是ハ何レ財産

○高木豐三君 是ハ能ク調ベタコトモアリマセヌデ、實際ムツカシイモノデアラウト考ヘマスガ、今申サウナ法律ヲ定メテ出スト云フコトニナレバ、敷地上云フモノハ法律上定マラヌト云フナラバ現ニ鐵道會社ノ線路ト云フモノハ此鐵道會社ガ買ッテ收用シテ居ル、今御話ノ抵當ニナッテ居ルモノモアリ、差押ニナッテ居ルモノモアルト云フ、是ハ何レ財産

上ノ關係モアリマセウガ、何レサウ云フ特別法律ヲ設ケル時ハ公用徵收ヲ設ケルト同シ
コトデ、矢張り法律ヲ補償ヲ與ヘテ其第三者ハ裁判ナラ裁判ノ結果、會社ガ負擔スベキ
モノナラバ賠償ヲスルトカシテ元々所有權ヲ徵收シテ取テ仕舞フ事柄アルカラ、其捌キ
ヲ付ケルニハ法律ヲ設ケサヘスレバ出來ルヲラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今ノ御説ハ法律ト云フモノガ全能アルナラバ出來
ルデアリマセウ、憲法ニ抵觸セヌケレバ出來ナイコトハアリマスマイガ、土地收用法ヲ行
テ居ル位ナラバ、是モ同ジ筆法ヲ用テ宜カラウト云フ御意見ノヤウデアリマスマイガ、併シ
土地收用法ハ鐵道トカ公益トカ云フ上ニ必要アルカラ行テ居ルノデ、是ハ隨分酷
コトデアアルガ實際ヤラナケレバナリマセウ、併シソレヲヤルニ付テハ隨分複雑ナル手續ト云
フモノガアリマス、其手續ハ收用法ヲ詳細ニ定メテアル通り當事者ノ權利ヲ取テ仕舞
フニ付テハ裁決ノ方法モ備ヘテ其他複雑ナル手續ヲ備ヘテ、サウシテ始メテ事ガ成ルノデア
リマス、第一鐵道抵當ノ爲ニ、私人ノ資金ノ融通ノ爲ニ鐵道法案ノ關係カラサウ云フ
コトヲスルノハ甚ダ面白クナイコトデアアル、第二ニハ縱シサウ云フコトヲスルトシテモ、餘ホ
ド複雑ナル手續ヲ要スルノデゴザイマス、決シテ簡單ニハ參ラヌデアラウト思ヒマス

○都筑馨六君 私有高木君ト略、同様に疑ガアル、一人ノ權利ノ保護ト云フコトカ
ラ見マシタラバ、多少無理モアリマセウ、ケレドモ今日道路ハドウデアアルカ、鐵道ト云フ
モノハ數ガ分テ居リマセウケレドモ、道路ト云フモノハ全國ニ涉テ非常ニ數ノ多イモノデ
アル、ソレガ若シ誤テ一人ノ土地ニ道路ヲ敷イタト云フ時ニ、私人ノ權利ハドウデア
リマスカ、一人ガ其權利ヲ使用シテ道路ノ通行ヲ止メルコトガ出來マスカ、決シテサウ
ハ參リマセウ、結局一人ハ道路ニ使テ土地ニ對シテ損害賠償ヲ要求スル權利ハ持
チマスカ、其道路ノ交通ヲ止メルコトハ出來ナイ、從テ鐵道ト云フモノモ天下ノ
公道デアアルカラ、行政官廳即チ遞信大臣ガ鐵道ノ營業ヲ許シタ以上ハ、一人ノ土地
地ニ喰込シテ所ノ鐵道ノ敷地ニ對シテ土地所有ノ權利ガアルカラト云フテ、其鐵道營
業ヲ止メテ天下公衆ノ迷惑デアアルカラシテ、其土地ニ鐵道ノアル間ハ一人ノ私權ノ行
使テ鐵道運轉ヲ止メルコトハ出來ナイト云フ原則ヲ取ラレテモ餘リ無理ナコトデアリマ
マイ、サウ云フ原則ヲ取ラレタ以上ハ鐵道敷地若クハ線路又ハ其營業ニ要スル所ノ車、
或ハ總テノ停車場トカ其他ノ工作物ハ之ヲ一體トナシテ、サウシテ總テ之ヲ一體トシテ交
通ノ用ニ供スル一ツノ半公的營造物トシテ、サウシテ多少誤テ一人ノ土地ノ區域ニ
這入ルコトガアルカモ知ラヌガ、其一人ガ鐵道ノ敷地ニ對シテ持テ居ル所ノ權利ヲ
行フ場合ニハ普魯西ノ如キハ遞信大臣ノ認可ヲ要スルコトニナツテ居ル、ソレデ遞信大
臣ガ宜シイ、オ前ノ權利ハ鐵道ニ向テ主張シテモ宜イト云フ認可ヲスレバ、其權利ヲ
行使スルガ、若シモソレヲ認可セヌ時ニハドウナルカト云ヘバ、會社ニ向テ損害賠償ヲ
要求スルコトガ出來ル、苟モ鐵道デアレバ交通ノ用ニ供スルモノデアアル、交通ノ用ニ供ス
ル以上ハ一體デアアル、道路ト同様デアアルト云フ原則ヲ取ル以上ハドウシテモ此豫定登記
ト云フコトハマルデアアル譯デアアル、之ヲ登錄簿ニ登錄スルナラバ直グニ抵當權ハ設置シ
テモ宜イ、登錄スルトセヌトハ私人ノ勝手次第デアアル、即チ鐵道ハ登錄スルモセヌモ勝手
デアアルト、サウ云フ主義ヲ取ラレタナラバ、豫定登記ト云フコトハマルデアアル譯デア
スレバ、如キムツカシイ手續ナクシテ行ケルデアリマセウ、是ハ餘所ノ國デモ大抵サウデア

リマス、何モ今言ハレタヤウナ精密ナル臺帳ナドハ無クテモ宜イ譯デアアル、即チ許可ヲ得
ル、特許ヲ得ル其瞬間カラ地面ハ切込マレタ所ガアレバ、唯今ノヤウニ道路ト一體ニシ
テ扱フコトニナツテ居ル、ソレカラ洪牙利、埃地利、瑞西ナドモ皆其主義ヲ取テ居ルヤ
ウデアリマシテ、豫定登記ト云フモノヲ認メテ居ル國ハ無イヤウデアリマス、佛蘭西ハ線
路ト敷地ダケ一體ニシテアル、ソレハ別ニ法律ガアルノデアハナイ、民法ノ原則デアウ云フコト
ニナツテ居リマス、佛蘭西ハ隨分人民ノ權利ヲ尊ブ所デアアルケレドモ、鐵道營業ヲシテ居
ル間ハ其敷地ニ對シテ個人ノ權利ヲ個々別々ニ行使スルコトハ出來ナイコトニナツテ居
マス、亞米利加モ矢張りサウ云フ主義ヲ採テ居ル、斯ウ云フ譯デアアル以上ハ、日本デ
新ニ此法律ヲ設ケルニ當テハ無論斯ウ云フ主義ヲ取ルニハ及バヌ、一人ノ既得權ヲ
鐵道營業ノ爲ニ害スルコトガアルナラバ、會社カラ賠償ヲ拂テ宜イ譯デアラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今ノ都筑君ノ御議論ハ非常ニ大キイ御論デアアルケ
レドモ、是ハ鐵道抵當ノ爲ニ設ケル法案デゴザイマス、私設鐵道法ヲ根本カラ變ヘヤウ
ト云フヤウナ御議論ニナリハセヌカト思ヒマス、ソレデ今ノ私設鐵道法ハ唯今ノヤウナ主
義ハ取テ居ラヌト思ヒマス、ソレハ固ヨリ國ニ依テ主義ヲ異ニ致シマセウ、或ハ鐵道ト
云フモノハ道路ト同ク公ケノ利益ヲナスモノデアアル、公益ノ爲ニスル營造物デアアル、即チ
一ツノ公用物デアアルト云フヤウナ見方モ亦一ノ見方デアリマセウ、併ナガラソレハ各國ノ
制度ニ依テ異テ居リマシテ、日本ノ私設鐵道法ハサウ云フ主義ヲ取テ居ラヌノデ
ゴザイマス、日本ノ私設鐵道法ハ矢張り一人ノ所有權ヲ認メ、其外各種ノ權利ヲ
認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ又差押ト云フコトモ許シテアレバ、又抵當權ノコトモ許
シテ居ルノデアリマス、既ニ之ヲ許シテ居ル以上ハ其權利執行ノ結果トシテ鐵道ノ運轉
ヲ止メルコトガアツテモ已ムヲ得ナイヤウナ場合モ出テ來ルノデゴザイマス、ソレカラ又鐵道
會社ト云フモノハ必ズ鐵道ノ營業ヲドモマテモ續テ行カケレバナラヌト云フコトニ付テ
モ現行ノ私設鐵道法ハ或ル場合ニ會社ノ解散ト云フコトモ許シテ居ルノデゴザイマス、ソ
レデ或ル程度マテハ公ノ機關デアリマスカラシテ、普通ノ一人ノモノトハ取扱フ異ニ
シマスケレドモ、唯今御話ノ如キ公ノ營造物デアアル、ト云フ主意ハ取テ居ラヌノデゴザイ
マス、即チ一種ノ營業ト見テ居ルモノト解釋シナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ唯今ノ御
説ノ如ク現行法タル私設鐵道法ノ主義ヲ根本カラ改メルト云フコトナラバ、ソレハ別問
題デアゴザイマスガ、ソレニ付テハ又大ニ攷究ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、又攷究イタシマ
シタ所ガ今日ノ現狀カラ變テ所ノ主義ヲ取リマサルニ於キマシテハ、唯今御話ノ如キ簡
單ナコトデアハ到底イカヌト思ヒマス

○都筑馨六君 決シテ私ハ餘所ノ國ガ斯ウ云フ主義デアアルカラ日本モソレト同ジ事ニ
シヤウト云フ積リデアハナイ、私立會社ガ鐵道營業ヲスルノハ詰リ營利ヲ目的トスルモノデ
アツテ、サウシテ半公的デアリマスカラ試ニ申シマシタノデ、其半公的ニ此鐵道ノ營業ヲ見
テ惡イト云フ程ノコトハ今日ノ鐵道法ノ中ニハ無イヤウニ思ヒマス、道路ノコトヲ申シマ
シタノハ、道路ガ一番近イ例デアアルカラ申シタノデアリマスガ、道路ニシテモ現ニ今日所
有權ヲ其敷地ニ付テ認メテ居ルノデアアル、道路ノ敷地ト云フモノハ古市君ノ御説モアツタ
ヤウニ、實ニ犬牙錯雜シタモノデアアルガ、ソレニ向テ一々地券ヲ發シテ居ル所モアリマス
ガ、ソレデ所有權ト云フコトハ認メテ居ルケレドモ、其所有權ノ行使ヲ道路ニ付テハ認メ

テ居ラヌノデゴザイマス、成ルホド鐵道ノ敷地ニ付テハ其所有權ノ行使ヲ認メテ居ルカ知リマセヌガ、例ヘバ日本ノ中デ今日サウ云フ地上權ヲ設定シテ居ルモノハ僅ニ二ツカ四ツデアルト思ヒマス、ソレカラ移リ變リノ時ニハドウ云フ方法ヲ行カト云フニ、一ツノ付テ出來テ居ル所ノ地上權ヲ全部一體ニ附テノ抵當權ト看做シテ、サウシテ或ハ他ノ抵當ニスルトカ、一ツノ純益ト見ルノデ、現ニ餘所ノ國テ今ノ法律ヲ布ク際ニ、即チ今ノ法律ニ變ヘル際ニ既ニ抵當附ノ債券ヲ發行シテ居ルコトガアル、其債券ヲ發行シテ居ラヌ拘ラズ、サウ云フ法律ヲ布イテ鐵道ヲ一體ト見テ、見タ代リニハ抵當附ノ債券ハ其一體ニ付テ抵當權ヲ設定シタモノト法律ノ力ヲ看做シテ變更シタラ、今現在抵當權ノ附イテ居ル鐵道ハ御話ニ依テ見ルト、高野鐵道、豆相鐵道ノ如キハ小サイ鐵道、コンナモノヨリ外、實際ハ無イラシイ、ソレ等モ此制度ヲ他所デ新ニ布イタ時ノ如クニ穩ニ今ノ權利ヲ保護シテ新シイ制度ニ移リ變ル仕組モアラウト思ヒマス、今日ノ鐵道法ノ原則ガ之ニ抵觸スルト云フマデハ解釋ハ出來ヌト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 段々御意見ニナリマスガ、序デニ申上ケテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵曾我祐準君) 如何デアリマスカ皆サン、マダ討論ノ際デハゴザイマセヌケレドモ、詰リ登記ニ就テノ質問カラシテ實際行ハル、ヤ否ヤト云フ所ニ議論ガ及ビマシタカラ、少シ議論メキマシテモ此際矢張り御互ニ兩方ノ御意見ヲ承タガ便利デアリマス

〔宜イデセウ〕ト述フル者アリ

○政府委員(一木喜徳郎君) 今ノ御話デハ鐵道全體ヲ鐵道財團トシテ抵當權以外ニモ色々ノ權利ヲ鐵道財團全體ノ上ニ及ボスヤウニシヤウト云フ御考ノヤウニ承タノデスガ、或ハサウ云フ御意見デハナイカモ知レマセヌケレドモ、結局サウ云フコトニナルカモ知レナイト思ヒマス、サウスルト詰リ鐵道抵當權ノ爲ニ鐵道財團ヲ設定スルノデナクシテ、鐵道財團ト云フモノハ一ツノモノデアアル、イツデモ鐵道財團ハ出來テ居ルモノデアアル、斯ウ云フ主義ヲ採ルコトニナルデアアラウト思フ、サウスレバ即チ鐵道敷設ヤ何カニ付キマシテ、或ハ改良工事等ニ付キマシテ先取特權ト云フヤウナモノモ生ジテ來ヤウシ、ソレカラ又鐵道總體ヲ差押ヘルト云フコトモ認メナケレバナラヌシ、總テノ權利ヲ此上ニ行ハナケレバナラヌコトニナル、是ハ果シテ鐵道抵當權ノ保障ヲ確實ニスル爲ニ利益デアラウカ、ドウカ其點ヲ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、勿論ソレモ一ノ方法デアアラウト思フ、あいせんば一んあいはいばいと云フテ鐵道財團ハイツデモ一ツノモノデアアル、イツデモ鐵道財團ガ出來テ居ルモノデアアルト云フコトニスルノハ一ノ方法デアアルト思ヒマス、併ナガラ其方法ヲ採リマス以上ハ、鐵道財團ノ變更ガアリマス時ニ其時々少クとも財團設定ノ手續ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、抵當權ノ鐵道財團ノ目錄ヲ出シテ置クトカ、ソレヲ變更スルトカ云フコトハ、總テノ手續ヲ執行カケレバナラヌト思ヒマス、ソレ程ノ事ヲスル必要ガ鐵道抵當權ヲ施行シ易カラシムルガ爲ニ設クル所ノ事ニ付テ效ガアルデアラウカ、徒ニ煩雜ノ手續ヲ重ネルトコトナリハセヌカト思ヒマス、詰リ法律ニ依レバ鐵道抵當權ヲ設クル爲ニ財團ヲ拵ヘル、總テノ鐵道ガ必シモ財團ヲ設ケテ抵當權ヲ設定スルノデアハナイ、設定ノ必要ノ生ジタ時ニ是ダケノ事ヲシ抵當權存在シテ居ル間、是ダケノ事ヲスレバ宜イ、

今ノ御話デハ根本的ノ仕組ガ變テ來マスガ、ソレ程ノ必要ハ無シ、却テ煩雜デアナイカト思ヒマス、豫定登記ノ煩雜デアルト仰セラル、ガ、此煩雜ヨリモ一層ノ煩雜ヲ忍バナケレバナラヌカト思ヒマス、豫定登記ノ煩雜ガ果シテ除クベカラザルモノデ、鐵道抵當權ヲ設定スルニ除クベカラザル障礙トナル程ノモノナラバ格別デアリマスガ、私ハサウハ信ジナイデアリマス、ソレデ今ノ御意見ニ對シテハ同意ヲ表スルコトハ出來マセヌ

○都筑警六君 政府ガ御不同意ト云ヘバ致シ方ナイデアリマスガ、何レニシマシテモ此抵當法案ガ無クとも鐵道會社ガ持ッテ居ル物ノ一個一個ニ對スル一私人ノ權利カラ鐵道營業即チ天下ノ交通ヲ止メルト云フヤウナコトガ出來テハ、國家トシテ損ナク次第ト思ヒマス、ソレデ此原則ハテス、今日設ラレルトコトガ出來ナケレバ早晚設ケラレナケレバナラヌ原則デアアラウト思ヒマス、鐵道會社ガ誤ッテ一私人ノ持ッテ居ル地面ハ線路ヲ造ッテ、其時僅カ一坪ナリ二坪ナリノ所有者ガ此所ヘ鐵道線路ヲ敷イタノハ過チデアアル、私ノ所有權ノ作用デ鐵道ノ運搬ヲ止メルト云フ我儘ヲ言ヒ出シタ日ニハ是ハ權利ノ行使デアアリマスガ、人ヲ苦メル權利ハ……斯ウ云フ私權ノ行使ハ早晚鐵道ノ爲ニ止メルト云フコトハ、今日ナケレバ早晩置カレナケレバナラヌト思ヒマス、道路ガ既ニサウナッテ居リマスカラ、其方カラ言ッテモ何デアリマスシ、又成ルホド政府委員ノ言ハル、如ク結局、一體トシテ權利ヲ行使スルヤウニナルカモ知ラヌ、ナルカモ知レヌケレドモ、ソレニ付テハ普漏西ナドデハ極ク便利ナ方法ヲ設ケテ居ッテ、一私人ガ鐵道會社ニ向ッテ物上權ヲ行使セムトスルトキニハ官廳ノ許可ヲ受ケル、許可ガアレバヤル、許可セヌトキハドウスルカト云ヘバ會社ニ向ッテ損害賠償ノ對人權利ヲ行フ、斯ウ云フ仕組ニスレバ交通ノ方ニハ害ナクシテイケモシマセウシ、又會社ガ必ズ破産ヲシナケレバナラヌト云フ程ノモノデハ無カラウト思フ、又根本的ノ原則ヲ變ヘルコトニナッテモ、假ニ一歩ヲ讓ッテサウナッテモ今ノ鐵道法ノ條項ナリ、又ハ此鐵道抵當法ノ條項ナリヘ左ホド苦シイ變更ヲ見ル必要ハ無イ、一二箇條デイケヤウト思フ、又手數ニ至ッテモ財團ヲ設ケテ居ル時ノ監督ノ手數ト云フコトデアアルガ、ソレハ抵當權ヲ設置シテ居ル場合ト、居ラヌ財團デアアル場合トハ監督官廳ニ於テ監督ノ寬嚴ノ程度ヲ異ニシテ宜イ話、財團デアアルモ抵當權其他ノ事柄ガ危險ノ地位ニ居ラヌ以上ハ何モ左ホドニ嚴ニ車ノ數トカ何トカ云フコトマデ監督スル必要ハ無イ、交通ヲ妨ケザル限リニ於テ、其會社ノ監督ハ平素通信大臣デモヤッテ居ル、一ノ財團ト見レバ其以上ニ於テ車ノ數ガ減ッテ増シタリスルコトハ一々届ケサス必要ハ無イ、抵當權ヲ設置シタ場合ハドチラニシテモ同ジコトデ、此法律ニシロ今ノヤウナ一本テナク仕組ニシテモ同ジヤウニ手數ヲ要スル、ソコニナルトチヨットモ變リハナイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 尙御參考マデニ申シテ置キマスガ、普漏西デモ唯今御話ノヤウニハナッテ居ラヌヤウデアリマス、普漏西ノ鐵道ノ抵當權ニ關シマス法律デモ鐵道登記簿ニ登記シタトキハ、其土地ヲ管轄スル登記簿ニ其土地ガ鐵道財團ニ屬スルモノト云フコトヲ登記シテ、其鐵道財團ガ終了シタ時ニハ之ヲ抹消スルト云フコトニナッテ居ル、即チ此鐵道登記簿一本デイデ居ルノデ無クシテ登記簿ニ登記スルト共ニ矢張り此土地登記簿ニモ登記シナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、デ全ク手數ヲ省クト云フコトハ、普漏西デモシテ居ラヌヤウデアリマス、尙今ノ私設鐵道法ノ改正ハ簡單デ済ムダラウト云フ御話モアリマシタガ、此鐵道財團ト今日私設鐵道法ニ依ッテ居リマスル所ノ抵

當ノ規定トハ餘ホド異テ居ル所ガアルノデアリマシテ、例ヘバ動産ノコトヤ、何かハ今日
デモ、アレハ個々別々ニ皆押ヘルコトモ何モ出來ルヤウニナラズ居ルノデアリマス、ソレデ重
モニ道路ト比較シテ論ゼラレマシタガ、鐵道財團ハ道路ノ如キ土地ケケカラ成立テ居ル
モノデアリマセヌカラ其點モ一ツ御考ヘテ願ヒタイ、大體ニ於キマシテ鐵道法ノ主義ノ
改正ニナツテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ御意見モアリマシタガ、是ハ大ニ攷究スベキ問
題デ、鐵道抵當ノコトニミカテ論ゼラルベキコトデナイ、或ハソレニ就テハ鐵道國有ト云
フヤウナ大キナ問題モアリマスカラ、サウ云フ根本的ノコトニ至リマシテハ他日ノ御考ニ讓
テ戴キタイ、今日ハ現行法ヲ基礎トシテ抵當法ヲ設ケルコトニシタイト云フ希望デアリ
マス

○高木豐三君 私ハ最初此問題ヲ惹起シテ譯デアリマスガ、私ノ主意ハサウ云フ簡便
法ヲ取ル途ハ無イカ、或ハ御考ハ無イカト云フコトヲ質問シタノデ、ソレニ就テ色々御説
明ガアリマシタガ、是ハ議論ヲ居テハ際限ガ無カラウト思フ、私共ハドウモ出來サウ
ニ思ハレル、今普漏西ノ御話ハアリマシタガ、前ニ私ハ抹消ト申シマシタガ抹消ト云フコ
トニシテ差支ナイト思ヒマス、ソレカラあいせんばーんあいはんと云フコトニ就テ
ハ鐵道法ノ根本カラ引線返スト云フコトデアリマシタガ、私ノ考デアハサウデナイ、ソレカラ
苟モ財團ニスルト云フコトナラバ財團ニシテ居ル間ハ其性質ヲ持タヌナラヌト考ヘマスガ、
政府ノ主意デアハサウデナク分割シテ一町ノ鐵道デモ一哩ノ間デモ抵當ニ入ラレル、斯ウ
云フ案デゴザイマスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) サウ云フ案デアアリマセヌ、ケレドモ「一部ニ付鐵道財
團ヲ設ケルコトヲ得」ト致シマシタノハ獨立シテ用ヲ爲スモノデナケレバナラヌノデ、一哩ニ
哩デモ切ツテスルト云フノデハ許サヌ積リデアリマス、併シ私ガ先刻申シタノハ抵當權ノ存
續シテ居ル間ノミ財團ガアルノデハナク、鐵道ト云フモノハ常ニ一ツノモノデ無ケレバナラ
ヌモノデアルト云フコトト考ヘタカラ、其點ガ大ニ原案トハ違フト云フコトヲ申上ゲタノデ
アリマス

○高木豐三君 都筑君ノ御考デアハ皆サウシタイト云フノデアリマセウガ、日本國ノ
主義ト違フト云フナラバ其鐵道ヲ以テ財團ヲ設ケタト云フ以上ハ、其主義ヲ貫カケレ
バナラヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ無論サウデス

○高木豐三君 私ドモノ希望スルノハ其範圍内ニ於テ簡便ニ出來ルモノナラバト云フ
希望ナノデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 即チ財團ガ出來レバ極ク簡便ナノデ、財團ヲ拵ヘルニ
ハ此手續ガ要ル……

○高木豐三君 サウスレバ一旦財團ニナツタ以上ハ一筆一筆別々ニ算當スルトカカ權
義ヲ別々ニスルトカ云フコトハ必要テ無イカト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレヲ一ツニスルニ、ドウスルカト云フ問題ナノデス

○高木豐三君 ソレハ現在ノ登記簿ニ載テ居ルカラ是ガ一ツノモノト云フコトニシテ
置ケバ宜イト思フ

ス、豫定登記ヲシテ置ケバ財團ガ出來レバ直ク通知シテヤルト其手續ハ濟シテ仕舞フ

○高木豐三君 現在ノ鐵道敷地ト云フモノハ皆登記所ノ登記ニ載テ居ル、サウスル
ト豫定登記ト云フモノハドウ云フモノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 豫定登記ト云フノハ第一ニハ財團ヲ設置スルマデノ間
ニ其土地ノ上ニ或ル外ノ權利ヲ行ハセヌ爲ニスルノデ、マダ財團ニナツテ居ラヌカラ他ノ
權利ヲ行ヒ得ルノガ本來デアルガ、豫定シテアレバ他ノ權利ハ行ヘナイト云フコトニナリマ
ス

○藤田四郎君 先刻來政府委員カラ御話ガアリマシタガ、私設鐵道法ト云フモノハ
根本ニ餘ホド私權ノ使用ヲ重シテ出來テ居ルト云フ御話デアリマシタガ、ドウモ私設
鐵道法ニ依ルト、質權ノ目的トスルコトハ大體ニ於テ出來ナイトカ、抵當ニスルニハ主
務大臣ノ認可ガ無ケレバ出來ヌトカ云フコトガアル、サウ云フ譯デアルカラ、或ハ認可ヲ得
テ抵當ニ入レテアルノモアリマセウ、サウスレバ今高木君ナリ都筑君ナリノ御話ノドチラノ
方法ヲ採リマシテモ第二者ニ對シテ不都合ノ起ルヤウナコトハアルマイト思ヒマスガ如何
デス

○政府委員(一木喜徳郎君) 今ノ抵當ヤ何かニシマスコトハ認可ガアレバ出來ルノデ、
勿論認可ヲ與ヘナイト云フコトモ出來ル、併ナガラ抵當權ヤ何かヲ會社ガ任意ニ設定スル
モノノ外差押ヘルト云フコトモ出來ル、法律上何モ禁ジタモノハアリマセヌ、是ハ動産ナ
リ不動産ナリニ對シテ同様行フコトガ出來ル、其點ハ今御話ノ抵當權設定ト云フヤウ
ナ會社ノ任意デアルモノトハ餘ホド趣ヲ異ニシテ居リマス

○藤田四郎君 御説明デ能ク分リマシタガ、詰リ私ドモガ考ヘマスニハ、既ニ公ノ道路
ニナツテ居ルモノデアルカラ之ヲ鐵道抵當法ニ依テ線路ノ差押ト云フヤウナコトハ禁ジテ
モ、チットモ差支ナイカト思フ、日々收入ノ賃金ヲ差押ヘルト云フヤウナコトハ出來マセウ
ガ、道路ヤ線路ヲ差押ヘルト云フコトハ禁ジテモ公益ノ用ニ供シテ居ルモノデアルカラ差
支ナイト思ヒマス、決シテ抵當法ノ根本ヲ壞ス程ノ事トモ思ハレル、普通ノ法律ニ依ツテ
出來ヌト云フノデ、私設鐵道法ノ精神モ是ハヤラヌ方ノヤウニ……實際ハドウカ知リマ
セヌガ、法律ノ精神ヲ見ルト、第一、質權モ出來ヌトカ種々ノ事ガアル、ソレ等ニ對シテ
モ差押ヘルト云フコトハ禁ジテ宜イカト思フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 現行ノ私設鐵道法ニ明文ハアリマセヌガ、即チ他ノ法
律ノ規定ヲ認メテ居ル、差押ノミナラズ先取特權ト云フヤウナコトモ出來ル、先取特權
ハ會社ノ任意ニヤルモノデアナイ、會社ガ或ル工事ヲヤレバ其工事ノ請負人ハ先取特權
ヲ得ル、サウ云フコトヲ禁ズルナラバ今日ノ鐵道法ニ明文ガ無ケレバナラヌ、明文ガ無イ
ノハソレヲ認メテ居ルノデアリマス、サウ云フ私權ノ關係ヲ認メタ上デ鐵道法ガ出來テ居
ル、ソレデアルカラ其事ヲ變ヘルノハ鐵道法ノ根本ノ主義ヲ變ヘルト云フコトニナルト思ヒ
マス

○都筑馨六君 念ノ爲ニ伺テ置キマスガ、私ドモハ強制管理トカ強制執行トカ云フ
コトガアルカラ、例ヘバ抵當權ヲ設置シテ財團ガ抵當ニナツタト云フ場合ニ於テ、金ヲ會
社カラ貸シタ、餘所ノ會社カラ鐵道會社ニ貸シテ、サウシテ財團ニナツテ抵當ニ取ツタ、
斯ウ場合ノ鐵道會社ト云フモノハ好キナ時ニ解散ノ出來ルモノデアリマスガ、矢張りサウ

云フ場合ニハ強制管理ノ方法ヲ應用シテ行ツテ、會社ガ解散スル積リデモ、強制管理ノ手テ債權者ガ要求スルナラバ行ケル積リデアアルノカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 此案ハ行ケル積リデアアルノデス

○高木豊三君 一ツ司法省ノ御方ニ伺ヒタイノデスカ、唯今一木政府委員ノ説明サレタ如ク私權モ認メテ居ル、差押モヤツテ居ル、私ハ一例ヲ知ツテ居リマスルガ、私ノ知ツテ居ルノハ豊川鐵道ト云フ小サナ鐵道ガアル、アレガ債權者タル銀行ト差押レテ生ジテ現ニ差押ヲ實行シタ、箱ニハ差押ノ紙ヲ貼ッテ居リマスガ、サテ敷地デス、敷地ヲ差押ヘテ之ガ登記ニ掛ツタ所ガ、如何セン帶ノ幅ト云フヤウナ地面デ、數千圓ノ費用ヲ費シテ何十哩何百哩ト云フモノテ到底ヤリ切レヌ、遂ニ銀行方ガ降参シテ差押ヲ止メテ仕舞ツタ、差押ハ不能デアアルト云フノデ、ヘタバツテ仕舞ツタ、其一例ヲ知ツテ居リマスガ、他ニ差押ヲ實行シテ悉ク登記ヲ終ヘタトカ云フヤウナ實例ガ是マデニアリマスカ、ドウデスカ

○政府委員(山之内一次君) ドウモ他ニハ記憶イタシマセヌガ、機關車ヲ差押ヘタ例ガアリマス、互相鐵道デスカ遂ニソレヲ競賣シテ仕舞ツタデアリマス

○都筑馨六君 チョット政府委員ニ念ノ爲ニ伺ヒ置キタイノデゴザイマスガ、先刻ノ御論鋒ヲ推シテ行クト斯ウ云フ結果ニナラウト思ヒマス、抵當權ヲ設置シテ、借金ヲシテ居ル時ニハ一人ノ權利ニ對シテハ一體トシテ鐵道ガ大分強イ權利ヲ持ツテ居ル、ソレニ反シテ借金ヲシテ居ラヌトキニハ一個人ノ方ガ個々別々ニ自分ノ權利ノ行使ヲヤツテ行ケル、一個人ニ對シテハ鐵道會社ト云フモノハ弱イト云フヤウナ論結ニ落チハセヌカト云フ疑フ懷イテ居ル

○政府委員(一木喜徳郎君) 今ノ御尋ハ借金ガアルト云フト、誰ノ權利ガ強クナルト……

○都筑馨六君 借金が抵當權ヲ設置シテ居マスガ、鐵道ト云フモノハ財團ニナレル、一財團ニナレル、從ツテ個々別々ニ持ツテ居ル權利ノ行使ガ出來ナイ譯ニナル、個々別々ニ持ツテ居ル權利ニ對シテハ、鐵道會社ト云フモノハ強クナル、ソレニ反シテ借金ヲ持ツテ居ラヌトキニハ其時ノ方ガ鐵道ト云フモノハ弱イ、鐵道ト云フ天下ノ公用ニ供シテ居ルモノノ力ト云フモノハ、借金ヲシテ居ル時ニ強クテ、居ラヌ時ニハ弱イト云フヲカシナ事ニナリハシナイカト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ鐵道會社ガ強イノデハ無イ、抵當權ガ強イノデアアル、抵當權ノ行使ヲ完カラシメムガ爲ニ此規定ガ出來タノデアアル、先刻御話ノヤウニ致シマスルト云フト、抵當權ト云フモノハ或ハ先取特權ヲノ其他ノ權利ノ後ニ立タナケレバナラヌヤウニナツテ、隨分資本ヲ投ズル上ニ於テ餘程ノ障害ヲ生ジハシナイカト思ヒマス、此案ハ鐵道抵當權ノ爲ニ財團ヲ設ケルト云フコトデアリマスカラ、結果ハ唯今テ都筑君ノ御話ノ通りニナルカ、ソレハ唯抵當權ノ實行ヲ確實ニスルノ趣旨カラ出テ居ル、其趣旨ガ崩レマスルト鐵道抵當法ノ效用ガ餘ホド少クナラウカト思ヒマス

○高木豊三君 私ハ政府デサウ云フ簡單ナ案ハ採レヌト云フコトデアリマスレバ、幾度申シマシテモ無益デアリマスカラ質問ハ是止メマス

○古市公威君 今ノ豫定登記ノコトハソレマデアリマスガ、尙順ニ各條ニ就テ質問デモスル……

○委員長(子爵曾我祐準君) 一般ノ御質問ガ終リマシタナラバ各條ニ付テ御質問ニナツタ宜カラウト思ヒマス、初メノ中ニ各條テ質問シテ行クト意味ガ徹底セヌノデ、唯今ハ一般ニ就テノ質問ノ時機ト認メテ居リマス

○藤田四郎君 北越鐵道ハ十日間テ出來ヌノヲ一日テ出來ルト云フ御話デアリマスガ、私ハ十日ト見込ガ付イテモ實行ガ出來ナイト思ヒマスガ、ソレヲ一日ニ出來ルト云フ御考ガ出タ、其統計ヲ富山縣ニ御引キニナツタノハ、ソレ等ノ數字ニ推セバ出來ルヤウデモアリマスガ、夢ヲ見テ居ルヤウナモノデハ無イカト私ハ思ヒテ居ル、隨分場合ニ依ルト合筆スルノニ致シマシテモ、少シ名前デモ變ツテ居リマスレバ一年グラ井掛リマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハドウ云フ場合カ存シマセヌケレドモ、何か特別ノ故障カ何カ付イテ居ル場合デハ無カラウカト思ヒマス、其特別ノ例ハ今此所テ承ツテモ餘リ益ハ無カラウト思ヒマスガ、先刻齋藤政府委員カラ申上ゲマシタノハ、詰リ數字カラ割出シタ計算デアリマシテ、今マテ仕事ノ運シテ行ク模様カラ言ヘバ、ソレタケニ運バナケレバナラヌト云フコトヲ申シタデアリマス、ト云フノハ現ニ富山ノ登記所デ三十四年中ニ扱ツタ件數、實際扱ツタ件數カラ割出シテアルデアリマスカラ、是ハ夢デハ無イ、事實カラ割出シタノデアアルカラ、推シテ行ケバサウ行カナケレバナラヌト云フコトデアリマス

○藤田四郎君 チョット一例ヲ申シマスルト、登記簿ニハ一番地トアリマシテ讓渡ノ契約書ニハ一番戸トアリマスルト、其事カラ直サナケレバ濟マヌ、例ハ鐵道會社ガ甲ノ地ニ在ツテ乙ノ地ニ其地面ガアルト、兩方ノ居ガ一番地ト一番戸ト違ツテモ數回ノ手數ヲ經ナケレバナラヌデアリマス、極ク容易イ例ヲ申シマスルト……

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレデ其手數ヲ省キマスルノニハ、先刻申シタ通り稅務署ノ方カラ通知ヲ致シテ、職權テ登記ヲスルト云フコトニ致シタナラバ、サウ云フ間違モ少ナシ、又申請人ノ方ハサウ云フ手續ヲスルノ必要モ無カラウト思ヒマス、サウシテ合筆ガ出來マシテ、筆數ノ非常ニ減ジタ所デ以テ手續ヲ致シマスレバ……藤田サンハ餘リ登記所ニ御信用ハアリマセヌガ、マサカニ一年モ二年モ掛カルト云フヤウナコトハ無カラウト思ヒマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 司法省ノ御方ニ御尋シマスガ、司法省ノ人カラ登記役人ガ登記ノ仕事ガ忙シクシテ其爲ニ川へ飛込シテソレデ死シタト云フ例ヲ聞キマシタガ、實際テノ通りデアリマスガ、名ハ忘レマシタガ司法省ノ誰カデゴザイマスガ其時ノ御話デアリマシタ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其事ハ私共モ噂ニハ聞イテ居リマスガ、事實果シテサウデアリマシタカ、ドウデアリマシタカ、ソコハ確メマセヌデアリマスガ御確答ハ出來マセヌ

○高木豊三君 先刻ノハ件數デゴザイマシタカ、筆數デシタカ、何十何万ト云フ、アレハ件數デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 筆數デアリマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 如何デゴザイマスガ、私ハ今日餘儀ナイコトデ、是カラ退席ヲ願ヒタウゴザイマスガ、皆サンガ是カラ續イテ議事ヲナラナラバ、堀田子爵ニ席ヲ御願ヒ申シマス、未ダ時間ハ早ウゴザイマスケレドモ餘儀ナイ事ガアリマスカラ

○子爵堀田正養君 今二三御相談ヲ致シマシタガ、今日ハ先ヅ是テ委員會ハ一時

散會ヲ願ヒマス、尙後トテ委員ノ者ガ寄ッテ懇談會ヲ開キタイト思ヒマス
○委員長(子爵曾我祐準君) 然ラバ委員會ハ是デ止メマス、次ノ會ハ明後日、月曜
日ニ致シタウゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、刻限ハ又申シテ上ゲマス
午後二時三十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐準君
委員

子爵堀田 正養君 子爵鳥居 忠文君 子爵三島彌太郎君
男爵前島 密君 男爵小澤 武雄君 男爵平田 東助君
男爵川口 武定君 古市 公威君 藤田 四郎君
都筑 馨六君 高木 豐三君 小幡篤次郎君
國務大臣 遞信大臣 大浦 兼武君

政府委員

法制局長官 一木喜徳郎君 法制局參事官 吉村源太郎君
大藏省參事官 塚田達二郎君 司法省民刑局長 河村讓三郎君
司法省參事官 齋藤十一郎君 遞信次官 田 健治郎君
遞信省鐵道局長 山之内 一次君

明治三十八年二月四日印刷

明治三十八年二月五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局